

拉致問題対策本部関係省庁対策会議 第14回広報分科会の結果について

1. 日時

平成21年6月24日（水）14：00～15：00

2. 主な内容

今回の分科会において報告・議論された主な事項は以下のとおりです。

(1) 民間と政府が連携した広報活動

① 拉致問題啓発はがき（エコーはがき）の新たな販売

埼玉県川口市を中心に3月に販売を開始した「拉致問題啓発はがき（エコーはがき）」は、発売後1ヶ月で発行した18万枚の約80%の約14万枚以上を売り上げ、現在では僅かを残し、ほぼ完売に近い状況となり、著しく良好に売り上げました。このため、今後、拉致問題とかかわりの強い他の地域での新たな販売について検討を行うこととなりました。

平成21年度第1回応募結果

4月から5月にかけて新たな募集を行ったところ、個人からの1件を含めた6件の応募があり、外部有識者ととともに審査を行った結果、以下の2件を内定案件としました。今後、実施に向けて応募団体との間で具体的な調整を行うこととしています。

① 「埼玉県での拉致問題啓発パネル展」

応募団体：北朝鮮に拉致された日本人を救出する埼玉の会

② 北朝鮮による田口八重子さんの拉致の事案を描いた漫画「母が拉致された時僕は 1歳だった」のタイ語版の制作

応募団体：北朝鮮による国際拉致解決連合

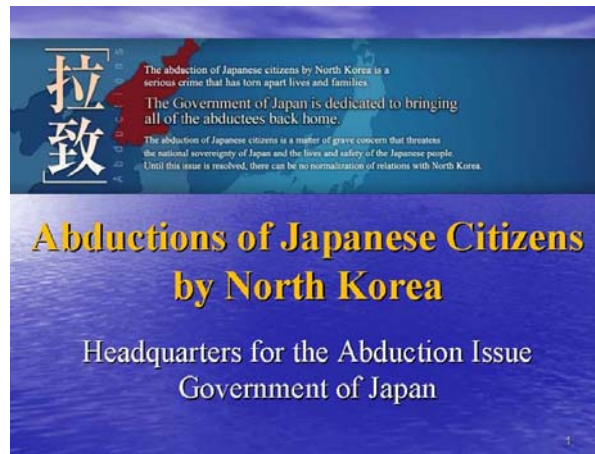
なお、現在、6月30日を締切りとして、民間と政府が連携した広報案件の第2回の応募を行っており、案件の受付を行っています。

(2) イタリアサミットでの拉致問題の広報を実施

来月7月に開催されるイタリアサミットで、拉致問題の小冊子、パンフレット等の広報資料を関係者に向けて配布する予定です。

(3) 拉致問題啓発用パワーポイントの活用について

拉致問題啓発用パワーポイントを作成し、本部ホームページで提供を開始したところ、約1ヶ月間にダウンロードが1000件以上にのぼりました。また、同パワーポイントの英語版が作成され、配布されることとなりました。



【拉致問題啓発用パワーポイント（英語版）】

(4) その他

8月の22年度広報予算の概算要求に向けた意見交換を行うとともに、政策広報の充実に向けて、様々な視点から意見交換を行いました。